

大不況下 給料アップ 856社

5ページ

社

このくらい余裕が欲しい



デフレ大不況なのに

サラリーマンの給与がどんどん減っている。厚生労働省の調査によると、09年に従業員の基本給やボーナス、手当などを削った企業が過去最多の30.9%にのぼり、08年の9.3%から激増していることが分かった。デフレ大不況では仕方ないのかもしれないが、その一方で、給与を引き上げている企業がけっこうある。賃金カットに泣くサラリーマンにとっては垂涎的の企業だが、どんなところか。

428兆円も内部にため込んで社員リストラに走る大企業は見習え

平均年収の伸び率ランキング（上位30企業）

企業名	市場	業種	平均年収	伸び率
イオン	東証1部	小売業	897万2000円	59.2
ハルテック	東証1部	金属製品	575万6000円	32.1
日本上下水道設計	東証2部	サービス業	826万6000円	25.3
東洋鋼鈑	東証1部	鉄鋼	683万7000円	21.4
アルテック	東証1部	卸売業	646万0000円	21.2
内海造船	東証2部	輸送用機器	622万3000円	21.1
リミックスポイント	東証マザーズ	情報・通信業	540万5000円	20.5
豆蔵OSホールディングス	東証マザーズ	情報・通信業	686万4000円	20.3
昭和電線ホールディングス	東証1部	非鉄金属	711万7000円	20.1
ムトウ	東証1部	小売業	653万6000円	20.0
ホソカワミクロン	東証1部	機械	765万3000円	19.9
マルカキカイ	東証1部	卸売業	608万4000円	19.8
エスエス製薬	東証1部	医薬品	733万7000円	19.7
そーせいグループ	東証マザーズ	医薬品	728万7000円	19.6
昭栄	東証1部	不動産業	870万9000円	19.2
フリージア・マクロス	東証2部	機械	547万7000円	18.8
システムプロ	東証1部	情報・通信業	552万3000円	18.5
四国コカ・コーラボトリング	東証1部	食品業	587万1000円	18.5
宮入パルプ製作所	東証2部	機械	444万3000円	17.7
ピリングシステム	東証マザーズ	情報・通信業	627万7000円	16.9
日本電工	東証1部	鉄鋼	706万5000円	16.5
コープケミカル	東証1部	化学	616万4000円	15.5
オートバックスセブン	東証1部	卸売業	649万3000円	15.3
ミクシィ	東証マザーズ	サービス業	581万6000円	15.0
ネットワークバリューコンポネツ	東証マザーズ	卸売業	491万6000円	14.8
タカラトミー	東証1部	その他製品	774万8000円	14.5
マツモトキヨシホールディングス	東証1部	小売業	741万2000円	14.3
東洋水産	東証1部	食品業	674万0000円	14.3
宮地エンジニアリンググループ	東証1部	金属製品	712万3000円	14.2
尾家産業	東証1部	卸売業	480万7000円	13.8

(注1)メディネットグローバル調査。(注2)伸び率は%(前期比)

のが現実的ではないでしょうか」（前出の中西文氏）
とはいえ、日本には一万一の場合に備えてとあって、総額428兆円もの内部留保をため込むばかりで、一向に社員に還元しない大企業が多い。こうした経営者たち、給与を上げる経営者の爪の力を煎じて飲ませたいものだ。

別表をご覧ください。業価値検索サービス「ユーレット(U-RET)」を運営するメーデー1部、2部、マザーズ)2389社を対象に09年11月末までに発表された有価証券報告書のうち、直近2期分の平均年収が増加している企業(単体ベース)を抽出し、伸び率の上位30社をランキングした。
この調査を行った企業のいづれかに分かれ、悪い中で、3分の1の

企業が収入の水準を引き上げていいると思われ、日本企業は、東洋水産やミクシィなどわずか。「多くは、数年前にリストラを実施した企業が目立ちます。リストラ効果で、利益を出しやすい経営体質に切り替えた企業が、残った社員のやる気を引き出すために給与を元の水準に戻したり、引き上げたりにしているのを見る

給料を上げてている

東証上場

企業が

856社

もあつた

多くはリストラ効果